

## 令和5年度第1回

### 檀原市図書館協議会議事録

日時 令和5年8月31日(木)午後2:00～

場所 中央公民館3階 講堂

出席者

#### 【委員】

会長	西村 洋子
副会長	苑樹 慶子
委員	西村 拓司
委員	榎谷 佐千代
委員	吉岡 眞
委員	井ノ上 晶

#### 【事務局】

教育長	吉田 徳弘
教育委員機事務局局長	栗原 照仁
教育委員会事務局副局長	辻本 昌弘
図書館長	奥村 美保
館長補佐	松元 まや
館長補佐	永田 豊
主任	坂根 宜浩

●館長補佐 定刻になりましたので、ただいまより令和5年度第1回檀原市図書館協議会を開催致します。本日は委員の皆様方には、お暑い中、またご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。

本日、7名の委員様のうち過半数6名のご出席をいただいておりますので、『檀原市立図書館の管理運営に関する規則』第22条第2項の規定により、この協議会が成立していることをご報告致します。なお、この会議は公開となっております。議事録は情報公開の対象となっており、図書館のホームページ等に掲載されますので、予めご了承ください。なお本日の傍聴希望は、ございません。

●館長補佐 それでは会議に先立ちまして、教育長よりご挨拶申し上げます。  
(教育長挨拶省略)

●館長補佐 それでは引き続きまして図書館協議会委員の皆さまのご紹介をさせていただきます。

(省略)

●館長補佐 続きまして事務局の紹介をさせていただきます。

(省略)

●館長補佐 資料の確認をお願いいたします。資料は事前に配布させていただいております。檀原市図書館協議会次第、檀原市図書館協議会委員名簿、資料1 図書館予算の概要、資料1 (参考) 当初予算比較、資料2 図書館行事、議題1 令和6年度事業の方向性(案)です。続いて本日配布の資料として檀原市図書館協議会座席配置図、図書館年報令和4年度版、檀原市立図書館だより「檀の樹」、またイベントのチラシとして、「夏休み子ども図書館1日Day」「こんな本読んでんねん!」「ティーンズ・ブック・レビュー」をお手元にお配りしております。資料は、揃っておりますでしょうか。不足がありましたら、お申し出ください。

●館長補佐 これより先の議事進行について、西村会長よろしく申し上げます。  
(会長挨拶省略)

●会長 会議の議事録署名者について、今回は吉岡委員にお引き受けいただければと思います。

●委員 お引き受けします。

●会長 それでは、議事録署名者は吉岡委員に決定しました。次第に従って進めてまいります。報告1 令和5年度事業です。「図書館予算の概要」について、事務局から説明をお願いします。

●事務局 令和5年度の「図書館予算の概要」を説明させていただきます。資料1と資料1の参考「当初予算比較」を併せてご覧下さい。では、1ページの資料1をご覧ください。左より令和2年度から4年度3ケ年の決算額。そして、右端に令和5年度の予算額を記載しております。なお、令和4年度の決算額につきましては、9月議会にて諮られますので見込額になります。

では、資料1の一般会計歳出予算対比をご覧下さい。パーセンテージの記載のある欄につ

いてご説明します。各年度の一般会計と教育費に占める図書館費および読書活動推進事業費と図書館管理運営費の割合を示しています。市の一般会計、教育費のうち図書館に関する決算、予算額がどれだけ占めているか表しています。なお、図書館費は、読書活動推進事業費・図書館管理運営費に常勤職員人件費を加えた額です。各年度の決算額を見ますと、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金の活用による補正予算措置が講じられた結果対一般会計比、対教育費比ともに割合は、令和 2 年度から 4 年度まで前年を上回りました。交付金を活用し、図書や館内を充実させるための機材等を購入することができました。令和 4 年度決算額、令和 5 年度予算額につきましては、次の図書館費内訳で詳しくご説明いたします。

それでは、図書館費内訳をご覧ください。図書館に関する経費の内訳です。繰越を含むとは、交付金の繰越予算のことで、令和 4 年度の決算額には繰越金が含まれています。令和 4 年度の決算額の欄をご覧ください。本年 2 月開催の協議会において、令和 4 年 12 月末時点の数値についてご報告しておりますので、今回は、資料費について補足説明いたします。資料費の下段、予算現額の 2,142 万円の内訳は、新聞・雑誌の刊行物購入費 170 万 3 千円と図書等購入費の当初予算 600 万円と繰越金 800 万円を合わせた 1 千 400 万円に 9 月補正の 565 万円、流用額 6 万 7 千円を加えた金額です。資料費の決算額は 2,141 万 8 千 743 円です。予算の執行率は、99.9%です。新聞・雑誌を除く図書等購入冊数は、令和 3 年度の購入冊数 7,277 冊に対し、令和 4 年度では、10,252 冊を購入することができました。これは、9 月補正予算の 565 万円で、4 年度に新たに導入した団体図書セット 1,598 冊と新刊本等 1,617 冊を追加購入できたことによるものです。団体図書セットは、小学生にお薦めする図書を選定し、先生方の選書の一助となることを目的に導入したセットです。

令和 4 年度の図書の購入について特筆すべきことは、令和 3 年度の児童書購入冊数 1,943 冊に対し、4,397 冊もの児童書を購入できたことです。子どもたちに良質な図書を届けるためにも児童書の選書に今後も注力してゆきたいと考えています。

令和 5 年度予算について、ご説明します。資料 1 に加え参考資料を併せてご覧ください。参考資料は、補正予算を除いた当初予算の比較表です。令和 5 年度の資料費は、1 千 589 万 5 千円です。うち、雑誌・新聞の刊行物購入費が、189 万 5 千円、図書等購入費は、1,400 万円です。教育委員会関係各位のご尽力により、交付金にたよらない当初予算としては、増額になりました。次に、図書整理用消耗品費 142 万 7 千円ですが、図書の盗難防止用 IC タグの購入経費を含んでおり、図書の購入冊数に比例するため補正予算等を含む 3 ケ年の決算額より令和 5 年度予算額は下回っています。印刷製本費 36 万円は、隔年で発注しています「図書利用カード」の費用が含まれているため 5 年度は増額しています。次に、講座・行事等の費用が 24 万 4 千円です。ビブリオバトルワークショップの新規開催やストーリーテリングの 1 回講座と 5 回の講習会を隔年で行っており、5 年度は 5 回の講習会の年にあたるため増額になりました。これらの読書活動推進事業費の合計額は、1,792 万 6 千円です。続いてパートタイム会計年度任用職員報酬等の費用が、513 万円です。採用人数に変更はあ

りません。次に、委託料 3,245 万 5 千円です。書誌データ入力業務 83 万 1 千円、図書回収業務 280 万 8 千円、カウンター受付案内等業務が 1,749 万円です。また、図書館システム更新に伴う次期システムデータ移行費用が、1,132 万 6 千円となっており昨年度より増となりました。使用料 1,605 万 9 千円です。内訳は、コピー使用料 5 万 1 千円、検索や発注業務に使用する書誌データ周辺ファイル使用料 107 万 8 千円、官報情報検索サービス使用料 2 万 6 千円、図書館システム賃貸借業務の現行システム 11 ヶ月分と新システム 1 ヶ月分を合せて 1,490 万 4 千円です。昨年度予算とほぼ同額です。備品購入費は 0 円です。電話料金、郵便料金の通信運搬費は、72 万 3 千円。旅費・修繕料等が、26 万 4 千円。報酬給与費が、12 万円。以上の図書館管理運営費合計額が 5,475 万 1 千円です。常勤職員の人件費は、6,876 万 9 千円です。人件費を併せた図書館費の合計が、1 億 4,144 万 6 千円になります。以上で図書館予算の概要の説明を終わります。

●会長 ただいまの説明につきましてご意見やご質問等ありましたらよろしくお願ひします。

●委員 今説明をしていただいたのですが、説明にあった内訳の数字が配布資料に記載されていないので、少しわかりにくいです。令和 2 年からの新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金の説明をもう少し詳しく聞かせていただけませんか。

●会長 事務局から説明をお願いします。

●事務局 令和 2 年、3 年、4 年度に新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金をいただいております。主に資料費として充当させていただいております。令和 2 年度は本を運ぶブックトラック等も購入させていただいております。金額は令和 2 年度 663 万円、令和 3 年度 800 万円、令和 4 年度は 2 回交付を受けまして 800 万円と 565 万円です。本年は今のところ当初予算での運用となっております。

●委員 令和 2 年度のコロナ交付金は資料 1 上段の檀原市一般会計に充当されているという認識でよろしいですか？

●事務局 その通りでございます。

●委員 ありがとうございます。

●会長 事務局は資料の工夫をお願いします。他に質問がなければ、「図書館予算の概要」について、を終わります。次に「図書館行事」について、事務局から説明をお

願います。

●事務局 つづきまして、行事の報告をさせていただきます。お手元にあります資料の2ページから6ページの資料2をご覧ください。

まずは、2ページ上段左側行事名の欄よりおはなし会から絵本の時間までの欄をご覧ください。昨年度は、図書館イベントに関する行事につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用や参加人数の制限といった対策をおこない実施してまいりました。しかし、令和5年5月8日に新型コロナウイルスが5類感染症となったため、図書館イベントに関する行事につきましては、マスク着用の自由や人数制限の撤廃をおこない、コロナ禍以前の形に戻したうえで、5月より実施してきました。そういった事情もあり、今年度の「おはなし会」の参加者は、昨年度と比べて約2倍に増加しております。また、令和4年度も大変人気のありました赤ちゃんとおはなし会については、予約で常に満席となっていました。5月より定員を増加したことにより、多くの親子におはなしを届けることができいております。

昨年度10月より再開しました第4水曜日の絵本の時間につきましても、引き続き子どもと本のひろばにて実施しております。この絵本の時間につきましては、図書館職員が直接、図書館利用している親子と触れ合う機会となっており、本の読み聞かせだけでなく、本に関する相談等もできるよい機会として利用していただいております。人数の集計はおこなっておりませんが、利用人数も増えている状況となっております。

続きまして、2ページ行事名の欄より高校受験用参考書配布事業の欄をご覧ください。こちらの事業は、昨年度に高校受験を終えた受験生より、使用済みの参考書をご寄附していただき、次年度の受験生に無償で配布し、受験勉強に役立てていただくものでございます。なお、参考書につきましては、市内の各中学校・高校より、ご寄附いただいたものとなります。配布冊数は1人10冊までとし、当初は、6月10日から8月31日までを配布期間としておりました。しかし、大変好評であったため、7月2日で終了することとなりました。期間中、合計で33人の来館があり、221冊の参考書を新たな受験生に届けることができました。今年度初めて実施した事業でしたが、大変好評だったこともあり、来年度も継続して実施し、より一層の周知をはかり、できるだけ多くの参考書を集め、配布できるようにしていきたいと考えております。

続きまして、3ページの行事名の欄より夏休み！子ども図書館1日Dayの欄をご覧ください。こちらは、令和5年2月に策定しました図書館サービス向上の取り組みの中の3-4.図書館をより居心地のよい場所にするを旨と掲げております、オープンスペースでの活動や夏休み期間のイベント開催として、今年度初めて開催しました。夏休み！子ども図書館1日Dayのチラシの表面をご覧ください。今回実施した各イベントの詳細を掲載しております。当日はビブリオバトルワークショップ、夏休みおはなし会、子ども図書館案内、館内クイズラリー、どの本読もうかな～おすすめ本を紹介しま

す～、ミニゲームの6つの事業を館内にて実施しました。これらのイベントの内、夏休みおはなし会とミニゲームにつきましてはオープンスペースであることと本のひろば内でおこないました。おはなし室と比べると気軽に参加できることや、何かのイベントを実施しているなど一目で分かることもあり、多くの方にご参加していただきました。今後もオープンスペースであることと本のひろばでのイベント利用活用を検討していきたいと考えております。なお、当日全てのイベントをあわせて約160名の方にご参加をいただきました。

続きまして、今後予定しております事業についてご説明いたします。3ページの行事名の欄より読書の秋イベントより下の欄をご覧ください。こちらに今後図書館で予定しております図書館行事を掲載しております。その中より今年度初めて実施する予定の事業を2つご紹介いたします。

まずは、【予定】新春えほんかるた大会の欄をご覧ください。こちらの事業の内容としましては、通常のカルタと同様に、読み札を読み、読まれたカルタの札を探して取り合うゲームです。そのカルタの対象を絵本にすることによって、本に親しみを持っていただく機会とするイベントとして開催する予定でございます。次に【予定】万葉集講座の欄をご覧ください。こちらの事業は、令和5年2月に策定しました図書館サービス向上の取り組みの中の3-2 みんなが親しみやすい図書館を目指しますと掲げております大人向けのイベントを計画の取り組みとして、開催する予定をしております。

続きまして、4ページの上段図書館見学の箇所をご覧ください。こちらは今年の春頃に、図書館見学に来た小学校一覧を掲載しております。昨年度までは、コロナ禍のため、自由見学のみでの対応としておりましたが、今年度より図書館職員による案内も実施しております。今後も、要請があれば見学を受け入れて、多くの子ども達に読書活動に興味を持ってもらえるようにしていきたいと考えております。

続きまして、4ページの中段図書館展示1から6ページの図書館展示3の箇所をご覧ください。こちらは図書館内で実施しました、1階・2階の資料展示と2階のショーケース内の作品展示の一覧となっております。昨年度3月より、図書館1階のカウンター付近のレイアウト変更をおこない、図書館入口左側スペースに、新たに特集展示できるスペースを作成しました。お手元の資料5ページ6ページの真ん中付近場所と表にありますところの1階展示スペースと記載しております箇所でございます。来館者にとって分かりやすい場所のため、大変好評をいただいております。また、リストの配布に工夫をおこなっております。従来通りのリストの配布とあわせて、令和5年2月に策定しました図書館サービス向上の取り組みの中のみんなが取り組みやすい図書館を目指しますと掲げております、QRコードを利用した展示リストやテーマリストの表示もあわせておこなっております。引き続き、読書活動推進につながる各行事を進めていくとともに、図書館システム更新業務を進めていく中で、あわせて展示方法の工夫をおこなってまいります。また、令和5年2月に作成した図書館サービス向上の取り組みを基本に、

魅力ある施設となるような図書館作りを目指してまいります。以上で行事の報告を終わらせていただきます。

●会長       ありがとうございます。ただいまの説明についてご意見やご質問がある方はよろしく申し上げます。ご意見が無いようですので「報告事項」について、を終わります。次の議題 | 令和6年度事業の方向性について、事務局から説明をお願いします。

●事務局       議題 | 令和6年度事業の方向性(案)について説明します。7ページをご覧ください。

1 資料の充実、先ほど図書館予算の概要で説明しましたように、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金活用したこともあり図書の購入費が1,900万円を超えました。それにより本の購入冊数が10,000冊を超えることができました。年間10,000冊の図書が入ってくるということは、約10万冊ある開架の資料が、10年ですべての本が入替わる計算になります。そのことにより蔵書の新鮮度が上がり、常に利用者に新しい情報が記載された資料を提供できることとなります。引き続き、資料の充実に努め、蔵書の新鮮度を高め充実させていきたいと思っております。

2 新図書館システム導入に伴う利便性の向上、令和6年3月から図書館システムが新しくなります。平成8年の開館当初は図書館内に設置しているOPACという資料検索機での検索しかできませんでしたが、平成14年には、インターネットを利用して自宅のパソコンから蔵書の検索が可能となりました。平成21年にはパソコン、携帯電話での貸出中資料の予約が可能となり、平成26年の図書館システム更新時にはICタグを利用した自動貸出機を設置するなど図書館システムは進化し続けてまいりました。新システムでは、新着一覧画面の背表紙画像の表示や、表紙の画像を本棚でジャンルごとに分けマイ本棚を作成できるなど、読書推進にも有益なシステムになると考えております。また、図書館利用カードを忘れてしまってもスマートフォンの画面にて利用カードを表示できる機能も搭載予定です。システム更新にあたり、ログイン、資料の検索、予約方法等の若干の変更がありますのでスマートフォンで便利な図書館の使い方講座のようなものも開催し、利用者が新システムに慣れ、便利な機能を使いこなしてもらえるように努めていきたいと思っております。

3 読書活動の推進、令和5年2月に策定した図書館サービス向上の取り組みを元に、令和5年度は様々な新規事業の開催をし始めております。継続事業に加え、新規事業としてあかちゃん絵本パックという、おすすめする乳幼児向けの絵本3冊、1セットを布袋に入れ、7月から館内入口付近に配架しはじめました。大変好評で常に棚が空になっている状況です。順次セットを増やしていく予定もしております。

また、今年度は、学校教育課との連携事業として、奈良県読書活動推進事業に取り組み、市内小学校のモデル校へ学校図書館の環境整備等を通じた読書活動の推進を図って

いく計画も進めております。

どんな事業にも開催するには人手、予算は多少なりとも必要となります。近年は職員数、予算獲得共に非常に厳しい状況ではありますが、同じ事業を継続するだけでなく、新しい事業の開催を試み、常に利用者に飽きられない図書館であり続ける工夫をしたいと思っております。令和6年度事業の方向性についての説明を終わります。

●会長 ただいまの説明について、ご意見やご質問はございませんか。なければ、議案「令和6年度事業の方向性（案）」について、議案審議を終わります。お諮りします。委員の皆様、議題1令和6年度事業の方向性（案）は事務局案を了承してよろしいでしょうか。

●委員 意義なし

●会長 ありがとうございます。事務局においては、議案内容をもとにして、事業計画を具体化されるように願います。

それでは、「その他」について、事務局から説明をお願いします。

●館長補佐 「その他」については、委員の皆様から特段のご意見などがあった場合のために設けております。これまでの議事進行により、事務局として予定していました項目はすべて終了いたしました。会長、副会長、あるいは各委員の皆様方からご意見などがございましたら、お聞かせいただきたく思います。

●会長 皆様いかがでしょうか。

●委員 よろしいでしょうか。報告であった予算の概要ですが、私たちは歳入とか歳出とかの数字を提示して相談したりするのですが、歳出のみの説明だけがあったのですが、歳入についての説明をお願いできますか？

●会長 事務局から説明お願いできますか。

●事務局 コロナ交付金などがあった場合は檀原市の歳入として充当されますが、図書館としての歳入はほとんどありません。

●委員 一般的には予算を取る時は収入と支出がこれだけあってという説明があるのですが、歳出の説明しかないので、歳入についての説明をお願いします。

●会長 事務局いかがですか。

●事務局 市の歳入は、税金等が3割程です。それ以外に国から地方交付税等が交付されます。歳入の内訳として交付税の割合が非常に多いのですが、その他にも手数料や土地の賃借料収入などが市の財政に入ります。その歳入のなかから各部署がどれだけの歳出が必要かということで予算要求をして配分されます。それが資料1の上段にあります。檀原市一般会計、令和5年度は449億7千万ですが、うち教育委員会の配分が46億6990万5千円です、そのなかで図書館として必要な経費として配分を受けたのが、図書館費1億4144万6千円ということです。独自の収入というのは、図書館の性質上ほとんど無いというのが現状です。

●委員 ありがとうございます。一般市民にもわかりやすい資料の工夫をお願いします

●事務局 わかりました。資料として図書館予算の前に檀原市全体としての歳入についての説明を入れる等わかりやすい資料の作成に努めます。

●会長 他にありませんか。

●委員 コロナが終わって、図書館行事の参加者が増えたという報告を聞いてとてもうれしく思います。コロナ禍でも様々な対策をして行事を開催していただいていたおかげだと思えます。今年度は学校支援等もしていただけるようですけど、家庭における読書と幼いころからの読み聞かせが大切だと思います。学校へ読み聞かせに行ってますが子どもたちもコロナの影響でとても忙しいようです。子どもたちにとって体を動かすことと本を読むことどちらも大切だと思っておりますが、どうしてもコロナ禍の中で子どもたちが体を動かす時間が少なくなっているため運動を優先するという現実もありまして、絵本の読み聞かせの時間というのがだんだん少なくなっていました。そういう現実も知っていただいて、読書を推進していただきたいと思えます。

●事務局 ご意見ありがとうございます。奈良県教育委員会としても朝読書にもっと力を入れていくという動きです。

●会長 本日予定しておりました報告事項、議案についてはすべて終了いたしました。これにて議事進行役を終わらせていただきます。

●館長補佐           ありがとうございました。最後に教育委員会事務局長よりご挨拶申し上げます。

(局長挨拶省略)

●館長               それではこれもちまして図書館協議会を閉会したいと思います。

(閉会)

令和5年9月20日

議事録署名委員